

地理A

単位数	2単位	対象学年	3学年	対象コース・クラス	チャレンジA
使用教科書	「高等学校現代地理A」清水書院(地A311) 「新コンパクト地図帳」二宮書店	副教材等	「高等学校現代地理Aワークノート」清水書院 オリジナルプリント		

1. 学習の到達目標

- ①現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。
- ②地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ①中間考査・期末考査の結果、提出物、授業中の積極的発言や作業への取り組み状況などを総合的に評価する。(評価の観点4つあることを考慮する。)
- ②定期的に小テストをさせて復習状況を確認し、評価の参考にする。
- ③ワークノートや白地図などを利用して作業的かつ体験的な学習をより一層重視して、さまざまな諸課題を日常生活と関連付けて取り扱い、地理的な技能を身に付させる。
- ④現代世界や生活圏の諸課題について、主に主題的な方法をもとにして学習する。

3. 学習上のメッセージ

- ①毎時間、教科書・地図帳・ワークノートを持参すること。
- ②予習として、授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。
- ③解説、授業内容と教科書の記述内容、地図帳での確認、板書事項など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。
- ④教科書は本文のみならず、写真・コラム・キーワードなども必ず読むと、知識の定着に役立つ。
- ⑤ノートの使い方は年度冒頭の授業で説明するので指示に従うこと。

4. 評価の観点・方法(年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中している。 ・地理的諸事象や現代的諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることができる。 ・キーワードを書きとめ、ノートの取り方を工夫している。・必要に応じて地図帳や図版・写真に書き込んでいる。 ・期限を守って、課題の提出ができる。 ・疑問点を積極的に質問して、解決しようとしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し、地理的見方・考え方を見いだすことができる。 ・現代的諸課題を、地域性を踏まえて、その背景・要因・解決策を多方面から追究し、より良い社会のあり方を環境・人権・平和の観点から提言することができる。
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができる。 ・統計の分析、野外における諸事象の観察から、地理情報を見だし、それを的確に地図化し、論理的に分析・解釈することができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的諸事象や地域性、現代的諸課題の分析・考察に必要なとされる基礎的知識(用語・地名など)や基本的概念(空間・環境・地域)を身につけている。 ・地域において社会生活を営むにあたって必要とされる地理的見方・考え方を身につけている。



このため、評価は次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して回答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノート・地理Aワークノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界	1 宇宙からみた地球ー地球儀を使って	○地球儀を用いて、水陸分布、大陸間の方位、距離、位置関係、時差や季節の生じるメカニズムについて考察することで、球体としての地球の姿を把握する。
	2 さまざまな世界地図	○世界地図は球体を平面にしているゆえに歪みが生じ、そこからさまざまな投影法が開発されてきたこと、地図は用途に応じて適切な図法を用いることを理解する。
	3 世界地図上の方位と時差	
	4 国家と領域	○国家の三要素と国境の概念、日本の地理的位置と領域、日本の抱える領土問題を扱うことで、世界的な見地から日本という国を考察する。
	5 強まる世界の結びつき	
第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	1節 自然環境と人びとの暮らし	○世界の地形や気候が人々の生活にどのような影響をしているのか考察する。 ○水と人びとの生活の関係を考える。
	2節 東アジアの人びとの暮らし	○東アジアの地域の自然と生活文化の多様性と共通性を理解する。 ○中国の経済発展と生活の変化を考える。 ○中国工業の「世界の工場」化と広がる地域格差を知る。
1 学期中間試験		
第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	3節 東南・南アジアの人びとの暮らし	○モンスーンの人々の生活に与える影について考える。 ○ヒンズー教徒の暮らしからインドの多様性を理解する。
	4節 中央・西アジア、北アフリカの人びとの暮らし	○乾燥地域の自然環境と人々の暮らしについて、ムスリムの生活から特徴を知る。 ○世界経済に影響する石油資源の重要性を考える。パレスチナ紛争など紛争地帯の特徴を理解する。
	5節 中・南アフリカの人びとの暮らし	○中・南アフリカの自然と生活・文化の特徴を理解する。 ○豊かな資源に恵まれるアフリカと資源争奪の実態を知る。アパルトヘイト後の南アフリカ共和国の現状に触れる。
	6節 ヨーロッパとロシアの人びとの暮らし	○ヨーロッパの特徴ある氷河地形や気候区分。キリスト教の影響が大きい文化。 ○EUにみられる結びつきを強めるヨーロッパの課題。さまざまな民族問題。社会主義後の東ヨーロッパとロシア。
1 学期期末試験		
第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	7節 北アメリカの人びとの暮らし	○雄大な地形と多様な気候。ネイティブ・アメリカと多様な民族からなる北アメリカの課題。 ○世界の食料庫であり、最先端工業国というアメリカの産業力。変化する都市。
	8節 中央・南アメリカの人びとの暮らし	○ラテンアメリカの多様な自然環境と特色ある人々の暮らし。混血社会と大土地所有制。 ○NAFTAやMERCOSURなど。独自の歩みをするキューバ。アメリカ依存からの脱却。
	9節 オセアニアの人びとの暮らし	○南の大陸と太平洋の島々。先住民アボリジニーとマオリ。白豪主義から多文化主義。豊富な鉱産資源。 ○核に海から反核・平和の海へ。海面上昇と存続の危機、ツバルなど島々。
2 学期中間試験		
第3章 地球的課題の地理的考察	1節 地球環境問題	○地球環境問題の代表的な地球温暖化の原因とその影響について考える。持続可能な開発には発展途上国と先進国の国際協力が不可欠であることを理解する。
	2節 資源・エネルギー問題	○さまざまな資源の役割と分布の特色を学び、今後のエネルギー問題について理解を深める。レアメタルなど先端産業に欠かせない資源を活用するためにどのような取り組みが必要か考えてみよう。
	3節 増える人口・移動する人びと	○世界の人口問題を大観し、発展途上国の人口問題について考えてみよう。世界的な移民の歴史と、現代の人口移動の背景や課題について理解する。
	4節 世界の食料問題	○世界の食料生産は増加しているのに、発展途上国の栄養不足問題が続いているのはなぜか考えてみよう。先進国の抱える食料問題、特に日本の食料自給率について考えてみる。
	5節 世界の居住・都市問題	○都市になぜ人が集まるのか、発展途上国の都市問題について考えてみよう。先進国にはどのような都市問題があるのか理解を深める。
	6節 国際協力	○地球的課題の相互の関係を考え、解決のための援助の在り方を考えてみよう。身の回りの国際援助をしているNGOを探してみよう。自分たちでできることがないか考えてみる。
2 学期期末試験		

<p>第2編 生活圏の諸課題と地理的 考察 第1章 日常生活と結びついた地 図</p>	<p>1 身近な地図を集めてみよう 2 地図のきまりを知ろう 3 地形図を読む 4 さまざまな情報を地図で表現 してみよう</p>	<p>○身近な地図の、役割や描き方を考察してみよう。地図のきまりについて理解を深める。 ○主な地形を地形図の読図から確認してみよう。統計や数値など、さまざまな情報を地図で表現してみよう。</p>
<p>第2章 自然環境と防災</p>	<p>1 日本列島の大地形 2 日本列島の気候 3 地震・津波による災害と防止 4 火山災害 5 洪水による災害と防災 6 土砂災害と防災</p>	<p>○世界的に見て日本列島はどのような場所に位置しているのか、地形的特色を知ろう。 ○風水害や土砂災害とかかわりの深い、日本の気候を理解する。 ○日本付近ではどのような地震が発生するのか、地震の起こる危険性の高い地域がどのあたりか知ろう。津波の危険性と特色を知り、ハザードマップを読み取ろう。 ○日本が世界有数の火山国で、危険性ととも、景観や肥沃な土壌なども火山活動の結果であることを確認しよう。 ○河川洪水と地形の関係を理解し、防災への取り組みを考えよう。 ○土砂災害の起こりやすい地域の特色を知ろう。</p>
<p>第3章 身近な地域の地理的課題 と地域調査</p>	<p>1 地域調査の方法とその手順 2 地域調査をしてみようー つくばエクスプレス沿線を調 べる 3 調査のまとめ方と地図づくり 4 調査からわかったことを共有 しよう</p>	<p>○地域調査の方法と手順を学び、身近な地域の課題を見つけよう。 ○実際に地域調査を実施して班でまとめて報告してみよう。新旧の地形図を比較して街の変化などを読み取ってみよう。空中写真の読図から地形を読み取ろう。 ○調査のまとめ方を事例を通じて学ぼう。 ○調査で分かったことを、発表して、地域で役立てよう。</p>
<p>学年末試験</p>		

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
学習の手引き シラバス説明													
第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界	1 宇宙からみた地球ー地球儀を使って												
	2 さまざまな世界地図 3 世界地図上の方位と時差 4 国家と領域 5 強まる世界の結びつき												
第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	1節 自然環境と人びとの暮らし												
	2節 東アジアの人びとの暮らし												
1 学期中間試験													
第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	3節 東南・南アジアの人びとの暮らし												
	4節 中央・西アジア、北アフリカの人びとの暮らし 5節 中・南アフリカの人びとの暮らし 6節 ヨーロッパとロシアの人びとの暮らし												
1 学期期末試験													
第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	7節 北アメリカの人びとの暮らし												
	8節 中央・南アメリカの人びとの暮らし 9節 オセアニアの人びとの暮らし												
2 学期中間試験													
第3章 地球的課題の地理的考察	1節 地球環境問題												
	2節 資源・エネルギー問題 3節 増える人口・移動する人びと 4節 世界の食料問題 5節 世界の居住・都市問題 6節 国際協力												
2 学期期末試験													
第2編 生活圏の諸課題と地理的考察 第1章 日常生活と結びついた地図	1 身近な地図を集めてみよう												
	2 地図のきまりを知ろう 3 地形図を読む 4 さまざまな情報を地図で表現してみよう												
第2章 自然環境と防災	1 日本列島の大地形												
	2 日本列島の気候 3 地震・津波による災害と防止 4 火山災害 5 洪水による災害と防災 6 土砂災害と防災												
第3章 身近な地域の地理的課題と地域調査	1 地域調査の方法とその手順												
	2 地域調査をしてみようー つくばエクスプレス沿線を調べる 3 調査のまとめ方と地図づくり 4 調査からわかったことを共有しよう												
学年末試験													
<p>凡例</p> <p> 授業計画</p> <p> 試験範囲</p>		行事等		中間試験	期末試験	中間試験	期末試験	学年末試験					